

Learning Assistant

LA活動報告

Fil2016で第一位に輝きました

2月26日(金)、東京都市大学の二子玉川夢キャンパスを会場に「Field of invaluable learning 2016」(略称Fil2016)が開催されました(株式会社Learning Value主催)。これは、学生が自ら考え、行動し、時には周囲の力を借りながら組織としても成長していく姿や経緯をプレゼンするための新しい企画です。今回は全国から120人を超える大学関係者・企業関係者が集まりました。本学

からは共通教養科目の『恋する学問』を提案したLA (Learning Assistant) 3名(政策創造学部3年松田昇子・文学部3年緒方友香・商学部3年篠原梨沙:学年は参加当時のもの)が参加しました。彼女たちは科目を提案するに止まらず、実際の授業では受講生がアクティブ・ラーナーになれるように支援するために、受講生の声を漏らさず聴こうと心掛け、本人が気づいていない知的

好奇心や探究心のあることを受講生にそっと伝えようとなりました。何より常に新しい「何か」を創造しようと精力的に活動しました。その活動がFil2016の参加者及び関係者に高く評価され、『応援したい団体』の第一位に輝きました。なお、「恋する学問」は今年度秋学期にも開講されます。

(教育推進部 三浦真琴)

海外でのインターンシップ経験

3月13日から18日までの期間、関西大学のLAが台湾台北市での国際学会International Symposium for Grid Computing 2016(以下、ISGC)で現地学会スタッフと共に、学会の設営、準備、受付、運営業務等で活躍し

ました。ISGCは毎年開催されている最先端ITテクノロジーの学会で、全世界から200名以上の参加者のある学会です。

参加したLAは、青木優介、池澤智也、塚本悠平、大早亜美、大久保有理、吉田麟の6名でした。

LAたちは3月10日より現地入りし、スタッフオリエンテーションを受け、学会スタッフとして活躍しました。

学会開催前には、現地スタッフと共に本部事務室、会議室の設営、学会バッジ、学会資料、ミールプランの確認、プレゼン用AV機器の設置等をおこないました。学会開催中には、受付業務、コーヒープレイクの準備、会場内の誘導、プレゼン用AV機器の調整、発表者補助、タイムキーパー、プレゼン資料のアーカイブ等を担当しました。学会終了後には、後片付けや撤収作業をおこないました。現地のスタッフとチームでイベントプロジェクトを最初から最後まで達成するという貴重な経験を得ることができました。

学会の閉会式では、学会責任者のDr. Simon Linより感謝状が渡されました。来年度もインターン受け入れの了解を得ることができました。

(教育推進部 山本敏幸)



ISGC ホームページより



発表者との打ち合わせ



学会主催者Dr. Simon Linと記念撮影



学会受付業務中のLAたち



学会受付業務中のLAたち



学会受付業務中のLAたち

From CTL事務局

「こんな環境で勉強できる学生が羨ましい」
連休に帰阪してきた大

学時代の友人たちを新緑輝く千里山キャンパスに案内した時、すっかり様変わりした正門を前にして彼らが漏らした言葉だ。私たちがこの場所で学んでいたのはおよそ30年前、本学が創立100周年を迎えようとする頃である。

時は流れて、今や本学は「校風や雰囲気が良い」イメージでは関西首位、そして「おしゃれな」大

学としても堂々ランクインしている(リクルート進学総研「高校生に聞いた大学ブランドランキング2015」より)。立派になった母校に、喜びを通り越して羨望の念を禁じ得ない彼らの気持ちはよく分かる。

本誌でも紹介されているように、教育開発支援センターでは学生やICTの積極的な活用、各種セミナー等の開催、他者と共同し主体的学ぶための学習環境整備など、多様な取り組みにより本学の教育向上を図っている。今春からセンターに携わることとなった私は、可能な限り催しに参加し、研

究紀要などにも触れることで、これらの取り組みのいずれもが教員・職員・学生が有機的に協働を行うことで実現していることを実感した。アルバイトやサークル活動に精を出し、どちらかと言えば学ぶことに対して受け身であった私たちとはずいぶん隔たりがある。

関西大学が創立130周年を迎える今秋、もう一度友人たちをキャンパスに招き、外観だけでなく、教育環境についても大きく進化していることを自慢したい気持ちでいっぱいになった。(丸)



KANSAI UNIVERSITY

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

<http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html>

発行日/2016年6月27日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター